

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月9日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)赤城 貫太郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役常務執行役員 管理部長(氏名)上田 正隆 (TEL)06(6471)7071
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	4,648	2.1	411	32.3	410	31.1	278	29.2
2018年12月期第2四半期	4,551	6.0	311	100.8	313	93.4	215	131.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 342百万円 (—%) 2018年12月期第2四半期 28百万円 (△88.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年12月期第2四半期	181	72	—	—
2018年12月期第2四半期	140	56	—	—

(注) 2019年12月期第2四半期の包括利益の前年同期比増加率が1,000%超のため『—』と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	17,007	10,360	60.9
2018年12月期	17,552	10,132	57.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 10,360百万円 2018年12月期 10,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年12月期	—	0.00	—	75.00	75.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	75.00	75.00	0.00
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	75.00	75.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,400	0.2	660	1.5	660	△0.2	470	△2.6	306	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期2Q	1,789,487株	2018年12月期	1,789,487株
2019年12月期2Q	258,194株	2018年12月期	258,158株
2019年12月期2Q	1,531,298株	2018年12月期2Q	1,532,724株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に個人消費が底堅く推移しているものの、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中国の景気減速の影響などが景気の下振れリスクとして懸念されており、依然として不透明な状況で推移しました。

当グループを取り巻く事業環境は、主力のバーコード用リボンなどのサーマルトランスファーメディア、修正テープの市場は底堅く推移している一方で、競争環境は予断を許さない状況が続いております。また、スマートフォン・タブレット端末等の電子材料分野向けを主とする機能性フィルム「F I X F I L M」の市場においても、依然として厳しい販売・価格競争が続いております。

このような環境のなか、当グループは、創造型企業としての技術基盤をもとに、新製品の開発および新市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

また、サーマルトランスファーメディア、修正テープなどについては、国内外において積極的な拡販活動を展開してまいりました。

生産面におきましては、海外生産拠点であるエフシー ベトナム コーポレーション(当社子会社)の活用強化による生産効率化、グループ全体でのコスト削減の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、主力製品を中心に拡販に努めた結果、46億4千8百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

利益面におきましては、高付加価値製品の販売の増加およびグループを挙げた生産の効率化によるコスト削減などにより、営業利益は4億1千1百万円(前年同期比32.3%増)となりました。経常利益は4億1千万円(前年同期比31.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の計上などにより、2億7千8百万円(前年同期比29.2%増)となりました。

品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めた結果、26億2千万円(前年同期比1.4%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、4億2千9百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

テープ類は、堅調な需要に支えられ、9億4千3百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心に拡販に努めたものの、2億3千万円(前年同期比1.5%減)となりました。

その他は、4億2千5百万円(前年同期比28.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、170億7百万円(前連結会計年度末比3.1%減)と、前連結会計年度末に比べ5億4千4百万円の減少となりました。これは、主に建物及び構築物の取得による増加の一方で、借入金の返済により現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

負債は、66億4千7百万円(前連結会計年度末比10.4%減)と、前連結会計年度末に比べ7億7千1百万円の減少となりました。これは、主に金融機関からの長期借入金を返済したことなどによるものであります。

純資産は、103億6千万円(前連結会計年度末比2.2%増)と、前連結会計年度末に比べ2億2千7百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の内部留保などにより、6億2千7百万円の収入となり、前年同期比では1億2千6百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより4億5千4百万円の支出となり、前年同期比では1億8千7百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出などにより8億7千7百万円の支出となり、前年同期比では2億5千2百万円の支出の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、期首残高に比べ7億1千2百万円減少し、50億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表(2019年2月14日)から変更しておりませんが、現在精査中であります。業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,716,187	5,003,877
受取手形及び売掛金	2,793,570	2,553,251
電子記録債権	481,630	563,510
商品及び製品	589,653	585,355
仕掛品	471,312	560,011
原材料及び貯蔵品	504,497	533,901
その他	86,777	106,956
貸倒引当金	△3,246	△3,085
流動資産合計	10,640,384	9,903,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,892,808	2,277,637
機械装置及び運搬具（純額）	1,219,812	1,261,415
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	305,889	11,813
その他（純額）	502,880	464,257
有形固定資産合計	5,601,313	5,695,047
無形固定資産		
その他	80,092	74,680
無形固定資産合計	80,092	74,680
投資その他の資産		
投資有価証券	1,067,683	1,166,886
長期貸付金	458	268
その他	163,792	168,802
貸倒引当金	△1,480	△1,480
投資その他の資産合計	1,230,453	1,334,477
固定資産合計	6,911,859	7,104,204
資産合計	17,552,243	17,007,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	588,698	651,682
電子記録債務	1,031,540	974,053
短期借入金	112,272	125,520
1年内返済予定の長期借入金	1,426,512	1,321,555
リース債務	107,630	103,179
未払法人税等	174,647	127,205
未払消費税等	20,786	6,782
設備関係支払手形	1,951	1,604
設備関係電子記録債務	103,217	232,336
その他	543,976	439,057
流動負債合計	4,111,233	3,982,979
固定負債		
長期借入金	2,229,723	1,610,600
リース債務	121,213	69,744
繰延税金負債	74,285	110,448
役員退職慰労引当金	146,937	151,220
退職給付に係る負債	732,420	719,167
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,308,392	2,664,992
負債合計	7,419,625	6,647,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,439,088	2,602,506
自己株式	△420,881	△420,943
株主資本合計	9,805,931	9,969,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,505	319,732
為替換算調整勘定	87,944	74,301
退職給付に係る調整累計額	△5,764	△3,310
その他の包括利益累計額合計	326,685	390,724
純資産合計	10,132,617	10,360,012
負債純資産合計	17,552,243	17,007,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,551,839	4,648,874
売上原価	3,266,286	3,266,498
売上総利益	1,285,553	1,382,375
販売費及び一般管理費	974,434	970,882
営業利益	311,119	411,493
営業外収益		
受取利息	623	518
受取配当金	23,379	23,835
保険返戻金	10,810	1,417
その他	8,307	4,634
営業外収益合計	43,121	30,406
営業外費用		
支払利息	14,429	12,739
為替差損	25,715	17,077
その他	873	1,594
営業外費用合計	41,019	31,411
経常利益	313,221	410,488
特別損失		
固定資産廃棄損	10,114	13,416
投資有価証券評価損	—	12,828
特別損失合計	10,114	26,244
税金等調整前四半期純利益	303,106	384,243
法人税等	87,670	105,975
四半期純利益	215,435	278,268
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,435	278,268

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	215,435	278,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165,010	75,227
為替換算調整勘定	△28,482	△13,643
退職給付に係る調整額	6,204	2,454
その他の包括利益合計	△187,288	64,038
四半期包括利益	28,147	342,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,147	342,306

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,106	384,243
減価償却費	228,441	221,916
のれん償却額	6,425	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,982	△10,638
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,575	4,283
受取利息及び受取配当金	△24,002	△24,354
保険返戻金	△10,810	△1,417
支払利息	14,429	12,739
固定資産廃棄損	10,114	13,416
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,828
売上債権の増減額(△は増加)	△203,025	154,540
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,414	△118,411
仕入債務の増減額(△は減少)	47,755	9,001
未払又は未収消費税等の増減額	62,801	△11,004
その他	181,946	115,554
小計	557,326	762,696
利息及び配当金の受取額	24,002	24,354
利息の支払額	△14,429	△12,739
法人税等の支払額	△66,288	△147,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	500,610	627,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290,180	△446,616
無形固定資産の取得による支出	△20,000	△1,920
投資有価証券の取得による支出	△3,318	△3,411
貸付金の回収による収入	217	182
保険積立金の解約による収入	47,110	1,422
その他	△249	△3,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,420	△454,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,135	15,788
長期借入れによる収入	21,619	—
長期借入金の返済による支出	△525,767	△722,707
リース債務の返済による支出	△55,660	△55,920
自己株式の取得による支出	△325	△61
配当金の支払額	△60,996	△114,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△624,265	△877,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,650	△7,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△410,726	△712,310
現金及び現金同等物の期首残高	5,874,970	5,716,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,464,244	5,003,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。